

<研究名称>

炭酸ガス造影の実施について

<研究申請者>

心臓血管外科 小山 基弘

<研究期間>

2018年11月14日

<研究の目的・意義>

下肢動脈疾患に対して造影検査を行う場合、ヨード造影剤が広く使用されているが、アレルギーがある場合は使用禁忌とされ、腎機能障害の場合は造影剤腎症が懸念される。これらの場合、炭酸ガスを用いた造影検査が行われている、これまでヨード造影剤の使用を断念していた患者にとっては造影検査を受ける機会を得ることができる。

<実施内容（方法）、危険性（副作用）等>

通常のカテーテル検査と同様にカテ室でシースを留置し造影カテーテルから炭酸ガスを動注する。炭酸ガスはすぐに血液に溶けるため危険がない。ただしシリンジに炭酸ガスを注入する際、空気が混入すれば空気塞栓となる。

<実施責任者・実施に関わる者の氏名>

責任者 心臓血管外科 医師 小山 基弘

<実施場所、対象患者等>

カテ室で実施予定。対象患者は末梢動脈疾患があり、MR アンジオで腸骨動脈閉塞を疑っており、Cre3.0と腎機能障害がありヨード造影剤では造影剤腎症が懸念される。

<倫理上問題になると考えられる事項、その他特記事項>

炭酸ガス造影は、連続500例で重篤な合併症がなく実施できたとの報告もあり、安全性は高いと思われていますが、各種ガイドラインでもその記述はなく、各病院が独自に行っている治療です。

<ICのための説明・同意に関すること>

同意書あり

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 心臓血管外科 小山 基弘

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648